

地域活動協議会への支援状況(運営)

【生野区】(受託者:コリアジャパンセンター・特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会・特定非営利活動法人大阪NPOセンター)

自律的運営に向けた地域活動協議会の取組 (イメージ)	めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ (支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績 (参加者数等)
	Ⅰ 地域課題への取組						
	地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている	地域課題やニーズに対応した活動の実施	少子高齢化が進む中で、地域活性化につながる「会館の利活用」をしていきたい。地域課題を「外部」の視点から見つめ、地域で共有したい	H28.4～H28.7	北鶴橋地域×「近畿大学建築学部宮部ゼミ」コラボプロジェクト	北鶴橋地域の活性化のため「近畿大学建築学部宮部ゼミ」を地域に迎え、地活協、まちセン、区役所が協働し、会館の有効活用を中心に学生による提案を検討した。 ○地域の特徴・課題把握のため「北鶴橋地域のまち歩き」を開催(4月) ○学生による第一次提案・プレゼンテーション4件を開催(5月) ○地活協役員に対するプレゼン内容へのヒアリング(5月) ○ブラッシュアップの後、最終の「会館活用に関するプレゼンテーション」(7月) →会館の「レンタルスペース」「シェアオフィス」としてのリノベーション運用と事業プラン提案	1地域、延べ58人
				H28.7～	子どもの居場所づくり事業	大阪市の「子どもの居場所づくり事業」にかかる流れで、派遣されたNPO法人「ハートフレンド」徳谷章子氏の協力を得、「こどもの居場所づくりワークショップ」を2回開催(10月)。その後さらに一歩進みたいと思う地域・団体に個別にレクチャーを受け、会館を利用した「居場所づくり」にアイデアを戴く。	3地域+1団体、講演会参加70名(2回計)
			高齢化社会の中、地域の高齢者が元気で集まれる場を作りたい	H28.5～	「百歳体操」普及推進	巽南地域で先進的に取り組む「百歳体操」を、区と連携し、取材・編集した動画をまちセンで作成・公開。各地域・団体に提供し視聴してもらい、普及推進に利用した。 →公開した動画の視聴回数は7月末までで1100回を超えた	19地域 →新たに8地域で新規事業として取り組んでいる。
				H28.7～H28.10	認知症予防「コグニサイズ」実施	東中川地域で「包括支援センター」の主導で「認知症予防プログラム・コグニサイズ」を導入。実施の様子を動画でまとめ、体験者の声・感想などを記録し伝えた。	1地域、参加者20名
			地域課題を明確化し、共有したい	H28.4～	個別面談・「子育て支援」情報収集・情報発信	地域に出向き、個別に随時懇談。地域の「お困りごと」「課題」「誇れる点」「特色」を調査 その際、特に「子育て支援」に関する、各地域の取り組みを重点に調査し、まちセンFacebookページで情報発信している。	19地域
				H28.10	まち歩きで地域再発見	校区内の「まち歩き」を行い、世代超え参加者を募る。地域を知り再発見する。	1地域・参加者15名
				H28.12～	地域アンケートの提案	他区の成功例を示し「全戸配布アンケート」で地域課題と担い手発掘を促す。	19地域中3地域具体的相談中
			地域活動の担い手不足、事業のマンネリ化を脱したい。新事業に取り組みたい	H28.4～	事業企画・運営に関する支援	地活協の事業運営において「新たな担い手参加」「企画のブラッシュアップ」「新規事業の導入」など、地域課題に応じた個別の助言・支援。共同体からの「民間補助金情報」など提供。	19地域
			地域活動の情報を、地域に届けたい。新たな担い手の入り口をつくりたい	H28.4～	SNS・動画等を利用した地域情報発信支援	生野区まちづくりセンター「Facebookページ」「ブログ」(既存)を大幅リニューアル、「Youtubeチャンネル」を新規作成。支援員個人が顔出し・名前出して発信することで、拡散をはかった。各「地活協」の情報発信を紹介・シェアして補佐し、さらなる拡散を行う。	→Facebookページは379記事UP、Youtubeチャンネルではオリジナル動画を25本UP、ブログは26記更新(4～1月) →メインの「Facebookページ」はファン数が290名増加(120%増加) 安定したリーチ数を維持している
			「地活協」の仕組みを理解する。「まちセン」がどんな「支援」ができるかを知る	H28.4～	ニュースレター「生野区まちづくり便り」発行	各「地活協」の活動でお会いした皆さんと、希望される方に「生野区まちづくり便り」(ニュースレター)を毎月発行し、郵送で「手書きメッセージ」を添えお送りしている。まちセンの「地活協支援」の情報や、「まちセン」のまちづくりに関する「思い」を伝え、新たな地域活動の担い手育成を促す。10号まで発行(H29.1現在)	19地域、延べ1000部発行
		法人格の取得	組織・体制の確立	H28.4～	法人化にかかる相談	地活協での収益事業実施のため、組織の法人化について相談。生野地区ではNPO法人化に向け2月に「連続勉強会」開催予定。	4地域

地域活動協議会への支援状況(運営)

【生野区】(受託者:コリアジャパンセンター・特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会・特定非営利活動法人大阪NPOセンター)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ (支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績 (参加者数等)
II つながりの拡充						
イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進	新たな地域の担い手を発掘し、既存の地域組織とつなぐ	H28.4～	生野区の未来を想う交流会「まちカフェ」開催	生野区で「まちづくりに関わりたい」「盛り上げたい」「色んな人とつながりたい」という人が自由に集う「交流サロン」をまちセン主催で月に1回開催。区内外から参加者が集い、独自のイベントなどが誕生し、新たな担い手の地域との交流をめざし今後も生野各地で継続開催する。 ○第1回東小路「まちのえんがわ」(5月) ○第2回北鶴橋「振興会館」(6月) ○第3回生野「銀座商店街イベントスペース」(7月) ○第4回巽南「空き店舗スペース」(8月) ○第5回小路「貸しスペース・サロンにしだ」(9月) ○第6回東桃谷町会の会館「茨会館」(10月) ○第7回舍利寺「松野農園」(11月) ○第8回巽南「老人憩の家」(12月) ○第9回NPO法人「フェリスモンテ・おたっしや食堂」(1月) ○2月11日 第10回は「まちカフェ・フォーラム」として集大成の会を区役所6階で開催予定	9地域、延べ151人参加
			H28.4～	ニュースレター「生野区まちづくり便り」発行	[再掲]	[再掲]
			H28.12～	地域アンケートの提案	[再掲]	[再掲]
		地域活動協議会のブログ等をさらに活用し、地域情報を届けたい	H28.4～	ブログ更新支援	ブログ更新に関しての要領、記事内容、写真撮影等の支援、各種相談	16地域
			H28.5～	西生野ブログ運営会支援	「西生野まちづくり協議会ブログ」において地域情報の取材・編集・写真撮影・アップロードについて月1回打ち合わせ・作業を継続 ○Facebookとの連携(5月) ○トップページのカスタマイズ(6月) ○動画のUP(7月) →ブログだけでなく広報全般を話し合う会議に。	参加者延べ45人 →最高リーチ数が過去373から744に倍増し、安定したリーチ数を維持。月間記事平均20記事以上UP
			H28.4～	生野地区広報オフ会支援	「生野地区運営委員会ブログ」の更なる地域情報の発信を充実させるために、月に1回記事内容・編集方針を検討している。 →LINE@勉強会につながる	参加者延べ25人
		地域に確実に地域情報を届け、地域事業への参加を促し、新たな担い手を発掘したい	H28.7～	地域情報発信「ブログチーム」結成支援	19地域中唯一「ブログ」を開設していなかった「鶴橋ふれあい協議会」にて、補助金を活用してPC・インターネット環境を整え、ブログ開設を支援(6月)。地域内の担い手を探し「ブログチーム」の結成を支援中。4地域(北鶴橋・鶴橋・東桃谷・巽南)にチーム作りを完成し、活動を始めた。	4地域、参加者延べ120名
			H28.6	LINE@勉強会	生野地区からの提案で、地域に確実に地域情報を届けるために、「LINE@ (ラインアット)」を活用したいとの要望を受け、共同体のつながりから「専門家」を講師として派遣。他地域にも参加を促し、LINE@はもとより、地域情報を届けるための考え方を検討しあう、広報研修会となった	3地域、参加者20名 →生野地区で「LINE@」スタート
			H28.7～H28.10	広報勉強会開催「本気の情報発信」	地域の活動に役立つ広報勉強会(9月・10月)を企画。「チラシの作成(デザイン)」、「動画での情報発信の仕方」の2テーマ。場所は東中川地域の会館。あいにく10月講演は「地震」のため講師が来れず中止になった。	3地域、参加者20名
			H28.7～	まちセンキャラクター作成	地域情報発信の見本となるよう「まちセンFacebookページ」等を更新しており、さらに愛着を持ってもらおうと「まちセンキャラクター」を作成した。	まちセンからの発信・チラシに利用
			H28.4～	SNS・動画等を利用した地域情報発信支援	[再掲]	[再掲]
			H28.12～	地域アンケートの提案	[再掲]	[再掲]

地域活動協議会への支援状況(運営)

【生野区】 (受託者: コリアジャパンセンター・特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会・特定非営利活動法人大阪NPOセンター)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ (支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組) 名称	支援(取組) 概要	実績 (参加者数等)
		地域資源で新たなつながりを作る	H28.4～	空き家プロジェクト、空き家カフェ	空き家の家主、建築家、不動産業者、学識者が連携した区役所の「生野の空き家」に関する「生野暮らし」のプロジェクトに協力。その中から実際に生野の「空き家」を購入し、リフォームする例を発信することを継続。「毎月19日開催」の「空き家カフェ」に発展している。近畿大学の田中晃代氏の協力を得、生野の空き家活用事例を今後、取材、記録、分析することになっている。	参加者延べ約100人
			H28.8～	国立イクノ大学	空き店舗を持つオーナーがそこをオープンにし、様々なイベントや講座を行う。それを各地で作(各地の取組をつなぎ)「イクノ大学」として地域とつないでいく。「まちカフェ」からのアイデア。	準備ワークショップ3回
			H28.10～H28.11	イベントにおけるTシャツ制作・販売	地域の若者がデザインし地域で作成。イベントのために使う協賛金とするという目的を広報し、地域の方にTシャツを販売し、売上金をイベント開催費用に充てた。	1地域(160着作成、完売)
			H28.11～	在日コリアンコミュニティとの連携	既存の在日コミュニティの広報誌との交流から、イベント参加などにつなげる。	3地域
地域活動協議会を構成する活動主体同士の連携・協働(担い手の拡大含む)【地域活動協議会内部】	地域活動の担い手が高齢化し不足している中、地域内を活性化し、連携を密にし、地域活動を充実させたい		H28.4～	ブロック合同事業・広報誌支援	A～Dの4つのブロック事務連絡会議で検討・進行されている「ブロック事業」「ブロック広報誌」の支援を行っている。会議のファシリテーションを行い、議事録の作成を参加者が行うよう提案している。「地活協」の枠を超えた「広域」を意識しての取り組み。	Dブロック事業は6月「オール巽大運動会」参加人数250名。Aブロックは「スポーツ大会」参加250名。Bブロック・Cブロックはそれぞれ2月19日に開催決定。
					ブロック広報誌に関しては全地域完成。Dを除く3ブロックで作成支援	広報誌は全地域完成
			H28.4～	生野会館開放するDAY支援・スペシャルイベントを支援	昨年から実施している「全労災地域貢献助成事業」。事業効果をはかるための「アンケート」について支援。7月には今年度の「助成金獲得の継続」も決まり、アンケート結果を参考に、新たな従事者の獲得・内容の充実を支援中。11月のスペシャルイベントの運営を支援した。	→アンケートは168名の小学生の回答を得た。「これからも参加したい」101名(60.1%)
					冬休みの「スペシャルイベント」では(1月開催)、「まちカフェ」でつながった大学生ボランティアが防災をテーマに、来場し、子どもたちに「防災かるた」「防災寸劇」で啓発した。	参加者30人
			H28.4～	地域伝統事業の支援	お花見・夏まつり・盆踊り・スリーアイズ大会・運動会・ラジオ体操など、伝統的に行われる地域の事業に参加。地域の皆さんのお手伝いをさせていただく中で、広報支援、運営支援、事業支援を行い地域内の交流の活性化を図る	18地域 →オリジナル動画を作成・公開している(25本)
			H28.10	子どもの居場所づくり事業	[再掲]	[再掲]
			H28.4～	事業企画・運営に関する支援	[再掲]	[再掲]
			H28.7～	地域情報発信「ブログチーム」結成支援	[再掲]	[再掲]

地域活動協議会への支援状況(運営)

【生野区】(受託者:コリアジャパンセンター・特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会・特定非営利活動法人大阪NPOセンター)

	めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ (支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績 (参加者数等)
	地活協を構成する活動主体同士や、地活協と他の活動主体との連携・協働が促進されている		地域活動協議会間の情報共有、連携と協力の推進	H28.4～	H28年度自転車利用適正化事業	昨年度から継続されている「JR桃谷駅周辺地域自転車利用適正化協働パートナー事業」の運営支援。Aブロック5まち協が連携して業務体制を構築。従事者連絡会議を運営支援(6月)。業務効率化、課題点明確化を行う。次年度の継続にもアドバイス。	5地域、延べ600人が従事(4～1月)
				H28.4～	ブロック事務連絡会議	各ブロックで月1回開催。事務連絡の円滑化、地活協相互の情報交換を支援。議事録の作成・議事録の取り方支援。さらに地域性に合わせて、特に下記の点で注力する。 ○Aブロック:自転車適正化事業・スリーアイズ大会、広報誌作成(ブロック事業) ○Bブロック:防災講演会開催(ブロック事業・2月)、広報誌作成 ○Cブロック:安City開催(ブロック事業)、会議ファシリテーション、広報誌完成 ○Dブロック:オール巽大運動会(ブロック事業)の記録・広報	19地域
				H28.4～	ブロック合同事業・広報誌支援	[再掲]	[再掲]
				H28.5～	「百歳体操」普及推進	[再掲]	[再掲]
		地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働【外部との連携・協働】	地域活動協議会以外の活動主体(個人・団体・専門家)との連携模索	H28.7	会計勉強会「まち協カイケイ」開催	まちセン主催による「地活協」のための会計勉強会を開催。共同体のつながりから専門家(税理士)を講師として招き、区役所担当者に協力いただき、会計の基本を確認するとともに、担当者同士の情報交換、具体的事例の「意見出し」とその解決を目指す会としてファシリテートした。さらに、外部専門家に会計処理委託する方法も紹介した	13地域、参加者23人
				H28.7	本気のクラウドファンディング勉強会開催	まちセン主催の「まちカフェ」[別掲]から生まれた、新たな担い手のチームで、企業(外部講師)を招いて、生野区内で「クラウドファンディング」の事例を新たに創出することを条件に勉強会を開催した。	参加者16名 →年内の事業創出に向け準備中
				H28.7～H28.8	夏休みこどもおたのしみDAY開催	まちセン主催の「まちカフェ」[別掲]から生まれた、新たな担い手のチーム「いくすく子ネクト」が、生野地域の会館を利用し、「子ども」を対象にしたイベントを開催。新たな担い手と「地域」をつなぐ入り口になるよう運営支援・協力をした。 →7月(生野会館)・8月(区民センター)2の各回。	参加者子ども32人、大人70人
				H28.7	「いくのバル」(仮)の開催推進	まちセン主催の「まちカフェ」[別掲]から生まれた、新たな担い手のチームと、「生野わがまちクラブ・いくのの日班」との連携で「いくのバル」(仮)の開催を準備中。生野区内の店舗と地域とのつながりのきっかけになればと実行委員会を支援	参加店舗12店
				H28.4～	生野銀座商店街合唱団プロジェクト	生野銀座街商店街のご協力を得て「合唱団」を結成し、夏祭りで舞台に立つ。その模様を動画にまとめ、地域につなげるため同様の取り組みを広げる。現在動画編集中。	参加者延べ22人
				H28.7～	外部よりインターンの派遣	共同体よりのつながりで大学生などまちづくりに興味持っている「インターン」が、まちセンとともに地域に出向き、外部からの受け入れの練習として支援に参加させる	2地域、延べ5人参加
				H28.7～	区内NPO・企業の紹介	生野区内の「地域に開く」「社会につながる」NPO・企業などを取材・紹介し、ネットを使って地域に情報発信	7件(1月現在) →今後も継続
				H28.11	地域イベントへNPOなど新たな地域活動者の参画	地域のイベントを活性化するため、まちセンを通じて区内で活躍するNPO団体によるスポーツイベント「キックターゲット」の提供、プロレス団体による「興行」「啓発活動」の提供を行なった。	6地域
				H28.12～	生野区内に「多国籍チーム」をつくり、地域とつなげよう	「まちカフェ」をきっかけに生野区内に生活している「外国人留学生」を中心に、多文化共生を考える「多国籍チーム」を作るために「ワークショップ」を開催。4か国の人が集まりスタートした。→地域の「日本語学校」と「まち協」をつなげるように動いている。	2地域・ワークショップ20名参加
		地域公共人材の活用	外部からのアドバイス	H28.4～	地域公共人材の案内	会議運営や組織運営、事業形成にあたって地域公共人材を利用することを勧めている(2地域)。地域ではないが生野で活動する団体(いくすく子ネクト)に「公共人材」を利用できた(1団体)。	2地域+1団体

地域活動協議会への支援状況(運営)

【生野区】(受託者:コリアジャパンセンター・特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会・特定非営利活動法人大阪NPOセンター)

めざす姿	地域活動協議会の取組 (※)	地域課題やニーズ (支援が必要な課題等)	実施時期	支援策 (取組) 名称	支援 (取組) 概要	実績 (参加者数等)
III 組織運営						
民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている	議決機関 (総会・運営委員会等) の 適正な運営	地域活動協議会規約の理解、適切な運営、監査の実施	H28.4～	総会・理事会の運営	総会 (定期総会・臨時総会) ・理事会を規約に沿って開催するよう区と連携して支援	19地域
			H28.4～	総会開催結果の公開	総会開催結果のブログ等への自律的な公開を区と連携し支援	19地域
			H28.7～	監事の仕事マニュアル配布準備	監事の業務、業務、会計監査のイラスト入りマニュアルを企画作成中	イラストの準備は完了。3月配布予定
			H28.7	会計勉強会「まち協カイケイ」開催	〔再掲〕	〔再掲〕
	会計事務の 適正な執行	会計事務の理解、負担感の軽減	H28.4～	会計相談担当の周知	会計支援業務の相談窓口が区役所担当であることを周知・徹底随時	随時
			H28.7	会計勉強会「まち協カイケイ」開催	〔再掲〕	〔再掲〕
	多様な媒体 による広報活動	地域活動の周知、参加者拡大や担い手の発掘	H28.4～	SNS・動画等を利用した地域情報発信支援	〔再掲〕	〔再掲〕
			H28.4～	ニュースレター「生野区まちづくり便り」発行	〔再掲〕	〔再掲〕
			H28.4～	ブログ更新支援	〔再掲〕	〔再掲〕
			H28.6	LINE@勉強会	〔再掲〕	〔再掲〕
			H28.4～	生野区の未来を想う交流会「まちカフェ」開催	〔再掲〕	〔再掲〕
			H28.7～	区内NPO・企業の紹介	〔再掲〕	〔再掲〕
			H28.12～	地域アンケートの提案	〔再掲〕	〔再掲〕
IV 区独自取組						
(区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組 (イメージ)」において設定している具体の取組を右欄に記載)		地域活動協議会間での連携	H28.4～	ブロック事務連絡会議	【再掲】	【再掲】
			H28.4～	ブロック合同事業・広報誌支援	【再掲】	【再掲】

※具体的な取組については「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」を参照